



昭和 39 年、倶知安町とサンモリッツ市との間で姉妹都市提携が結ばれて以来、さまざまな形で両都市の交流が深められてきました。その中、平成 8 年から始まった青少年交流事業によって、これまでにたくさんの若者たちが国を越えた絆を育んでいます。



留学となったようです。

また、ホストファミリーとの生活や、倶知安高校での授業体験などを通じて、たくさんの人に出会い、彼女たちにとって実りのある

2 人は 10 月 11 日から 19 日までの 9 日間の間、倶知安町に滞在し、神社の見学や、茶道・着物の着付けなどの日本文化、ラフティングや乗馬などのアクティビティ、などさまざまな体験をしました。

です。

今年、スイスのサンモリッツ市から交換留学生としてやってきた、ファドリナ・ハスラーさん（17 歳）（写真左）とカリン・ホイベルガーさん（16 歳）（写真右）

「グーテン・ターク！」（ドイツ語でこんにちはの意）、10 月 11 日（日）、新千歳空港の到着ゲートから元気な声と共に、2 人の若者が笑顔でやってきました。



俱知安高校での2日間

10月15日(木)、緊張した様子で、2人は俱知安高校を訪れました。2日間の学校体験の始まりです。前日まで何度も日本語での自己紹介を練習していた2人。

校長先生への挨拶を済ませ、ファドリーナは2年C組、カリーンは1年D組へそれぞれ案内されました。

2人が教室に入った瞬間、生徒たちから「かわいい!」と歓声があがりました。

スイスから来た可愛らしい留学生に興味津々の生徒たち。

最初は別々のクラスに別れて授業を受けることを不安に思っていた2人でしたが、生徒たちの明るい出迎えに安心した様子でした。昼休みには、スイスの学校と違

い、昼食を教室で食べることに驚いていた2人。ホストファミリーが作ってくれたお弁当を食べながら、たくさん生徒たちに囲まれスイスと日本の文化の違いなどについて楽しそうに話していました。

この2日間を通じて、2人は英会話の授業や、理科、数学、書道、体育、音楽などさまざまな授業を生徒たちと一緒に体験しました。

放課後は部活動にも挑戦。2人の希望で、英会話クラブとバレエ部を見学することに。これを通じて、授業だけでは交流できなかったより多くの生徒と交流することができたようです。

最後のホームルームでは、2人へクラスの生徒一人ひとりが書いたメッセージカードのプレゼントが。生徒たちからの突然の贈り物

ファドリーナとカリーンからのメッセージ

We have made many new experiences in Japan. The chance to see Japan like this is uniquely. From the first moment we have felt comfortable because everybody is so friendly and helpfully. It was e very enjoyable time with them. We are happy to have met them. ARIGATOU

訳：私たちは、日本でたくさんの体験をしました。今回のように日本を知る機会はめったにないと思います。出会った人みんな親切だしフレンドリーで、安心しました。とても楽しかったです。みんなに出会えて嬉しいです。ありがとう。



来年はサンモリッツ市へ

来年は、俱知安町からサンモリッツ市へ留学生を派遣する年です。

ホストファミリーや、現地の若者たちとの触れ合い、文化施設などの見学などを通じて、日本ではできない数多くの体験をすることができます。

中学生、高校生の皆さん、ぜひこの機会に、サンモリッツ市で異文化を体験し、国際的視野を広げてみませんか?

※来年度の派遣者の募集は、随時広報紙などを通じて行います

多くの外国人が暮らす俱知安町。さまざまな文化が共生するわが町において、次代を担う異国の若者同士の交流は、今後ますます大きな意味を持つでしょう。

学校を後にするときも、一緒に写真を撮ったり、連絡先を交換したり、たくさん生徒が2人との別れを惜しみました。2日間という短い期間でしたが、俱知安高校の生徒たちと2人の間にはかけがえのない絆が生まれたようです。

に2人はとても驚いた後、それを大事にそうに抱え「宝物にします」とほほ笑んでいました。